

教科名 (外国語 科)

(1) 学年対象

科目名 (英語コミュニケーション I)

学 習 指 導 案

1 育成する能力

2 人の少女の Bye Bye Plastic Bags 活動に関する英文を読み、社会的な問題に関して英語でプレゼンテーションをしたりディスカッションをしたりできる。

2 取り上げる題材・単元

啓林館 ELEMENT English Communication I

Lesson 3 Contributing to Our Planet

3 学習活動における具体的な評価規準

知 識 ・ 技 能	思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	主体的に学習に取り組む態度
関係代名詞や使役動詞を用いて、自分の考えを適切に英語で表現できる。	世界で起きている環境問題の解決策を考え、自分の解決策について英語で発表したり他者と英語で議論したりできる。	積極的な話し合い活動を通して、他者の考えを尊重しながら自分の考えを伝え、学びを深めることができる。

4 学習活動の展開案と評価規準

時 間	学 習 活 動	評 価 規 準
1～3	Bye Bye Plastics Bags 活動のきっかけ ・どのようにメラティとイザベルの姉妹が活動を始めたのかを理解する。 ・バリ島のプラスチック汚染の現状を知り、自分がメラティとイザベルの立場であったら何ができるかを考える。 ・関係代名詞を用いた表現を理解する。 If you were Isabel or Melati, what would you do to stop plastic pollution?	・ Bye Bye Plastics Bags 活動が始まるまでの流れを理解できる。 【知識・技能】 ・バリ島のプラスチック汚染の問題解決のために自分ができることを考えて表現できる。 【思考・判断・表現】
4～5	Bye Bye Plastics Bags 活動の経緯と姉妹の願い ・ Bye Bye Plastics Bags 活動をメラティとイザベルの姉妹がバリ島から世界へ広げたいという願いを理解する。 ・若者が世界を変えた事柄の例を挙げ、そこから学んだことについて英語で表現したり話し合ったりする。 ・使役動詞を用いた表現を理解する。 Who changed the world as a young global citizen? What did you learn from him/her?	・ Bye Bye Plastics Bags 活動の経緯とメラティとイザベルの姉妹の願いを時系列で読み取り、整理できる。 【知識・技能】 ・若者が世界を変えた事柄の例を挙げ、そこから学んだことについて、積極的に英語で表現したり話し合ったりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】

6～7	Contributing to Our Planet を読んで ・SDGs を実現するために、自分の解決策を英語で発表する。 ・他者の考えを理解し、質問したり意見を述べたりする。 ・他者の考えをふまえて、話し合い活動の内容を要約し、英語で発表できる。 How can we save the Earth?	・SDGs を実現するために、自分の解決策を英語で発表したり、話し合い活動の要約を英語で発表したりできる。 【思考・判断・表現】 ・様々な考え方を理解し、意欲的に質問したり意見を述べたりできる。 【主体的に学習に取り組む態度】
-----	--	---

教科横断的な視点

・バリ島のプラスチック汚染の問題が取り上げられていることから、理科の環境問題や家庭科のリサイクル問題と関連づけ、日常生活に生かせるような意識付けをさせる。 ・PowerPoint を用いて、プレゼンテーション資料を作成することから、情報科で学んだ情報処理活用能力を生かして、効果的なプレゼンテーションになるように工夫をさせる。 ・「SDGs 14 : LIFE BELOW WATER」と深く関連した Topic であるため、持続可能な発展のために地球市民としてできることをSDGs の視点から考えさせる。
